

=====第 13 回数理社会学会論文賞推薦要項=====

1. 推薦対象

- (1) 数理社会学会会員が執筆し、機関誌『理論と方法』あるいは他の学術雑誌に掲載された原著論文。原著論文には特集論文、研究ノート、書評論文も含む。共著論文の場合は、著者全員が会員であることを必要とする。
- (2) 上で会員とは、2019 年 12 月 31 日現在において会員で、その後引き続き会員であるものをいう。
- (3) 論文を掲載した雑誌が、2016 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日の間に発行されたもの。
- (4) 雑誌発行地は問わないが、日本語もしくは英語によって書かれたものとする。

2. 推薦基準

- (1) 数理社会学ならびに理論社会学、計量社会学における独創的な研究成果であり、当該分野の発展に資するもの。
- (2) 推薦者は数理社会学会会員に限る。ただし、自薦・他薦を問わない。
- (3) 一会員が推薦できる論文数は 3 点までとする。

3. 審査方法・発表

- (1) 会員および選考委員の推薦する候補論文のなかから、数理社会学会論文賞選考委員会が選考し決定する。
- (2) 選考結果は学会ニューズレターにおいて発表し、2020 年秋の学会大会において表彰する。

4. 推薦方法・締切

- (1) 推薦論文 1 点につき「数理社会学会論文賞推薦書」1 枚（学会ウェブサイトの告知記事から入手可能）を記載のうえ、電子メール添付ファイルないし郵便で下記 6 に送付する。なお電子メールの場合は件名を「jams 論文賞推薦」とし、郵送の場合は封筒の表に「論文賞推薦」と朱書すること。
- (2) 推薦書は必要に応じてコピーして利用してもよい。様式が同一であれば、自分で作成する推薦書でも構わない。
- (3) 締切は 2020 年 1 月 31 日（金）消印有効（メールの場合は同日必着）とする。

5. その他

- (1) 推薦者には、推薦論文の入手について依頼することがある。
- (2) 対象雑誌には次のような雑誌がある。
理論と方法、社会学評論、IJJS、行動計量学、教育社会学研究、現代社会学研究、社会学研究、社会学年報、ソシオロジ、ソシオロギス、社会分析、経済社会学会年報、環境社会学研

究、家族社会学研究、日本都市社会学会年報などの和雑誌、Journal of Mathematical Sociology、American Journal of Sociology、American Sociological Review、Rationality and Society などの洋雑誌、地区学会の機関誌、大学・研究所等の紀要など.

6. 送付・問合せ先

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1

立命館大学産業社会学部 筒井淳也（論文賞事務局）

Tel: 075-466-3484 E-mail: tsutsui@ss.ritsumeai.ac.jp